令和２年度　学校だより

緑　柏

長崎県立佐世保南高等学校

No.１８０
令和　２年　７月　３１日発行
行責任者　堤　　敏　博

校長室の窓から

「続 誰かのためになりたい」

7月20日に、全校生徒に対して放送による校長講話を実施しました。内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

信号機のない横断歩道で、なかなか車が止まってくれずに渡ることができないという経験をしたことがある人もいるかと思います。JAFによると昨年１０月の調査で、横断歩道での車の一時停止率の全国平均は17.1%で8割以上は止まらないという結果になっています。都道府県別で見ると、最も一時停止率が低い都道府県は、3.4%、逆に、最も高いのは長野県の68.6%で、JAFが調査を始めた2016年以降4年連続で1位だそうです。原因を探ろうと、ある記者が長野市内まで出向き、朝の通勤通学の時間帯の車が停止している状況をよく見ると、大人も子どもも、横断する際にドライバーに対して軽くおじぎをしていたそうです。周囲の長野県出身者に聞いたら「それ、当たり前ですよ。長年の間、学校、地域、家庭で、あいさつとか会釈とかいうものを大事にしてきたことが顕在化しているのではないかと思います。ドライバーもかつては子どもだし、今の子どもも車が止まってくれるという安心感みたいなものを持ちながら大人になっていくわけです。ドライバーも子どもも、ある意味では世代を超えながらみな同じ体験を共有している。そのことが大きいのではないかと思います。さらに、運転手にとっても、歩行者にとっても快い体験を重ねていくことが、実はとても重要ではないかなと思います」と言われました。さらに、ある調査によると、ボランティア活動が盛んなところで一時停止率が高いというデータもあるそうです。「他者のために行動することに前向きな県民性が、一時停止率を高めている」とも言えるのではないかと思います。

話は変わりますが、先日、本校のある生徒が校長室にやってきて「自分は、この南高が大好きです。だから、その魅力を外に発信したい、そのためにやりたいことがあるのです」とあるプランについて説明に来ました。「愛する南高のために役に立ちたい」という想いに心を打たれるとともに、構想を練るだけでなく、行動に移していることのすばらしさを感じました。南高愛といえば、本校の卒業生で「南高に行きたいという中学生を増やしたい」という思いでブログを始めた方がいらっしゃいます。その中で、「南高の生徒はどこにいてもあいさつしてくれる。すばらしい生徒たちだ。また、南高の先生方は、『答え』を教えているのではなく、学問を通して『生き方』を教えているのだ。君たちが通っている学校はすばらしい学校なので誇りを持って欲しい。」と訴えています。また、先日は「トイレは学校の顔、誰が汚したかわからない汚れたトイレを、見て見ぬふりするのではなく、みんなのためにきれいに使おう、きれいに掃除しよう。」

「誰かのために」にもいろいろな形があるのです。君たちが、近隣の人にする何気ないあいさつが、その人を元気づける。これもそのひとつだと思います。

ここ数年、明治維新や戦後復興以来の激動の時代がきたといわれています。ただ、これまでの激動の時代と大きく違うことがあります。それは維新や戦後は、欧米社会など倣うべきモデルがありましたが、今回はモデルがなく、誰も経験したことのない世界に足を踏み入れようとしているのです。そして、それを作り出すのはいつの時代も若者です。君たちが模索しなければなりません。正解がない世界で、自分なりの答えを模索する際に、キーになるのが「誰かのために」だと思うのです。私は、幕末から明治初期にかけての歴史小説を読むのが好きなのですが、そこで思うのが「維新を成し遂げたのは、名もない地方の若者であり、彼らを動かしたのは『このような生き方をしたい、このような社会を創りたい』という思いと志であったこと」です。君たちにも、ぜひ、自分の利益だけにとらわれず、他のために社会をよりよくしたいという思いと志をもって欲しいと思います。このような考え方と行動力を持つ人材を社会が求めているということは、当然、大学もそのような人材を求めています。進学や就職におけるそれぞれの希望を実現するためにも、「誰かのために」を頭においてこれからも高校生活を送って欲しいと思います。

校内放送での全校集会

７月２０日（月）、校内放送による全校集会を開催しました。今年度は４月の始業以来、一度も全校生徒が一堂に会する場面がなく、この全校集会がはじめての会となる予定でしたがコロナ禍の情勢が落ち着かない現況を考慮し、放送による集会となりました。

本来であれば、１学期の終業と夏期休暇の節目となるはずの集会でしたが、今年は休校期間による授業時間不足への対応として８月６日まで授業日が延長されています。このことを踏まえつつ校長先生による訓辞、生徒指導部による生活上の諸注意、また保健相談部による心身の健康の守り方についてお話がありました。校長先生の訓辞については、この緑柏の巻頭言に、校長先生のことばとして紹介しています。どうぞ御覧ください。

速報

第十三回県協会長杯 県高校バレーボール選手権

優勝

大村工業を破り
２年ぶり３度目

【決勝トーナメント２回戦】
佐南　２－０　海星
【準々決勝】
佐南　２－０　長崎工業
【準決勝】
佐南　２－１　長崎南山
【決勝】
佐南　２－１　大村工業

感染防止の川柳　優秀45選決定！

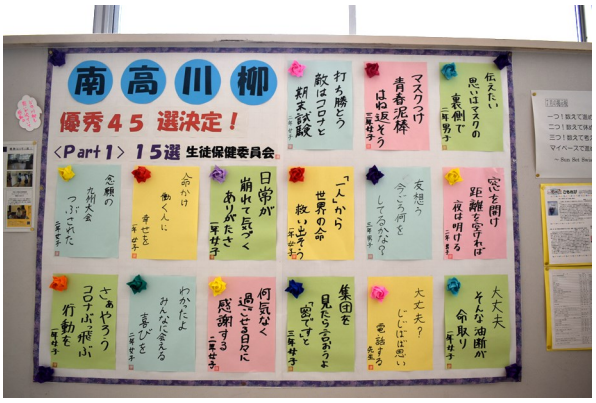
保健委員会では、心キラッと南高旬間の取り組みとして、新型コロナウイルス感染防止をテーマに「川柳」を募集しました。生徒と職員からは、予想を上回りおよそ６００作の作品が寄せられました。作品選出は、自分のクラスから保健委員が心に響いた作品を５点選出し、さらに保健委員長の大野新生君を中心とした役員で、優秀４５選を決定しました。

どの作品にも、家族や友人等大切な人への想い、学校生活・部活動への気持ち、マスク・手洗い・三密等感染防止について、また働く人へ感謝など、自粛生活の中で感じていたことや、学校再開した時期の思いが、五・七・五の川柳に素直に表現されていました。高校生ならではのユーモアも感じられる力作揃いで、選出には大変苦労しました。

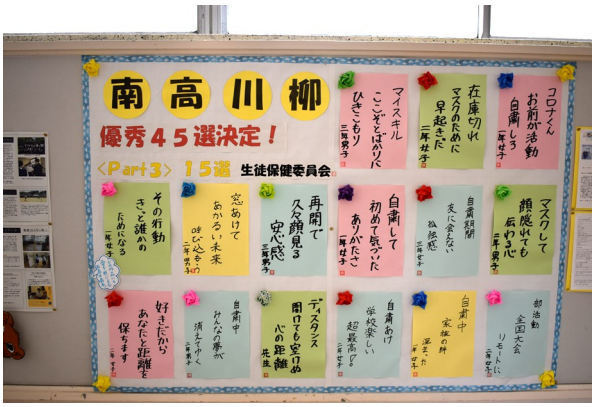
優秀４５選は、作品は３部に分けて、階段の掲示板３箇所に掲示されています。当選祝いにと保健委員が折りバラ作りに挑戦し、手書きで清書した作品に花を添えました。

新型コロナウイルス感染症対策はしばらく続きます。新しい生活様式になっても、川柳を作成した頃の気持ちを忘れずに、感染症防止に取り組んでいきましょう。

たくさんの応募ありがとうございました。是非、南高川柳の力作をご覧ください。



校内掲示の様子
45選の川柳を掲示



作品紹介

＊マスク付け
青春泥棒　はね返そう
３年女

＊あのコロナ（頃な）
言える未来　早く来い
１年男

＊高額の　マスク買う
親の愛
１年女

＊会いたいと　願う友の
ありがたみ
３年男

＊高総体
果たされぬままの
夏の思い
２年男

＊自粛明け　学校楽しい
超最高！
２年女

今年度の
オープンスクールは
オンライン開催

今年度のオープンスクールは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の本校での開催を中止し、インターネットを活用した「オンラインオープンスクール」を実施します。配信期間は８月１日（土）～７日（金）の一週間です。内容は、「生徒による校内の案内」や「部活動紹介」、「授業風景」そして「入試情報」など本校の教育や学校生活等に触れてもらえるような配信内容になっています。また、配信期間中はＬＩＮＥを使って個別相談も行っていますので、この機会に南高の学校生活や受検のことなど質問をしてみてください。

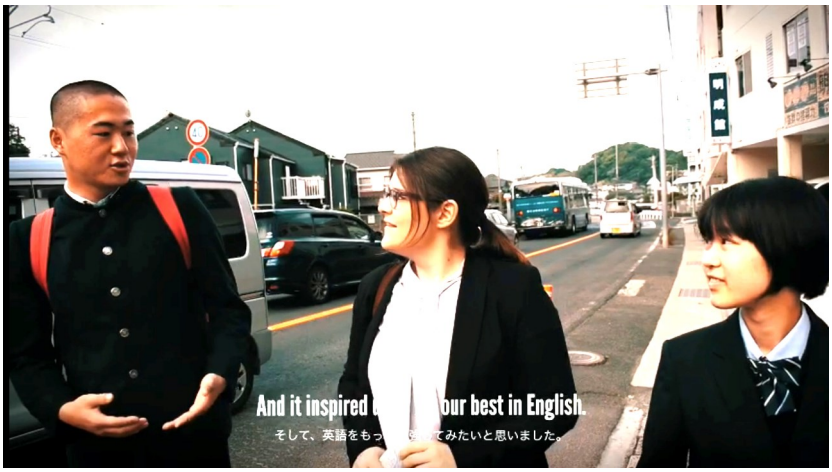
受検生向け特別ページ開設中
8月1日(土)～8月7日(日)

オンライン
個別相談

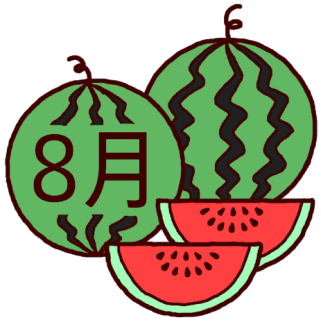
学校ガイダンス
授業体験動画

詳しくは上記QRコードを読みとって本校受検生向け特設ページをご覧ください。

【お問い合わせ】
佐世保南高等　広報部
0956-31-5291　70050sasebominami_kouhou@news.ed.jp



学校CMも
本校HPにて
公開中!

８月行事予定（予定）

８月　１日（土）～７日（金）オンラインオープンスクール
　　１日（土）Ｓプロ（３年）
　　９日（日）平和学習
　　ブロック結成式
　１８日（火）全校集会
　　校内実力テスト（１・２年）
　１９日（水）校内実力テスト（２年）
　　人権学習（３年）
　２２日（土）～２３日（日）対外マーク模試・九大プレ（３年）
　２２日（土）Ｓプロ（２年）
　２９日（土）Ｓプロ（３年）
※コロナウイルス感染拡大防止のため、急に変更になる場合がございます。